

## 平成 26 年度 事業報告書

- 1) 事業活動計画及び事業活動結果について審議・承認し、計画に基づき活動した。(三役会 10 回、部会 3 回開催)
- 2) 建設生産性向上、建設コストの縮減、品質確保の推進をテーマとして、以下の活動を行った。

機電技術者の交流・育成に資する「場づくり」として意見交換会、現場見学会を企画・開催した。(機電技術者交流 WG)

  - ① 平成 26 年 10 月 2、3 日に、第 18 回機電技術者意見交換会を開催した。(参加者 23 名)
  - ② 平成 26 年 10 月 3 日に、(株)大林組 石川洋二上級主席技師の講演会(演題「宇宙エレベータ建設構想」)を開催した。
  - ③ 平成 27 年 1 月、若手機電技術者の知識向上を目的とした見学会を、千住関屋ポンプ所建設工事の大林組・大本組 JV 工事事務所で実施した。(参加者 24 名)見学会後記を「建設機械施工」3 月号に掲載した。
- 3) 安全の推進、災害応急復旧技術の開発等として、建設機械の事故防止に資する諸活動を展開した。
  - ① 建設機械に係る事故事例を定期的に収集し分析中である。(建設機械事故調査 WG)
  - ② 建設用クレーンに特化した建設機械の事故事例を定期的に収集・分析し、これを基に移動式クレーンの安全講習会資料としてクレーン三団体に提供した。(クレーン安全情報 WG)
- 4) 新機種の開発、IT 化、情報化施工、自動化の推進として、次の活動を行った。
  - ① 平成 26 年 8 月に、他業種ロボット技術の調査を目的に、(株)IHI 横浜工場にて見学会を実施した。(参加者 16 名)見学会後記を「建設機械施工」10 月号に掲載した。
  - ② 平成 27 年 3 月に、ウォータータイトを採用している大成建設(株)で施工中である新名神高速道路箕面トンネル東工事の現場見学会を開催した。(参加者 17 名)見学会後記を「建設機械施工」4 月号に掲載した。
  - ③ 平成 27 年 3 月 10 日の合同部会で、国土交通省公共事業企画調整課稲垣孝企画専門官より「社会インフラ用ロボットについて」、次世代無人化施工研究組合立石洋二運営幹事長より「UC-Tec の事業概要」、及び機械部会豊岡司油脂技術委員長より「高効率油圧作動油の紹介」等についての講演会を開催し、意見交換を実施した。